



GNT-0000  
「ダブルオークアンタ」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GNT-0000  
**00 QAN(T)**

© 創通・サンライズ  
CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GNT-0000  
**00 QAN(T)**

GNT-0000 「ダブルオークアンタ」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル



GUNDAM 00

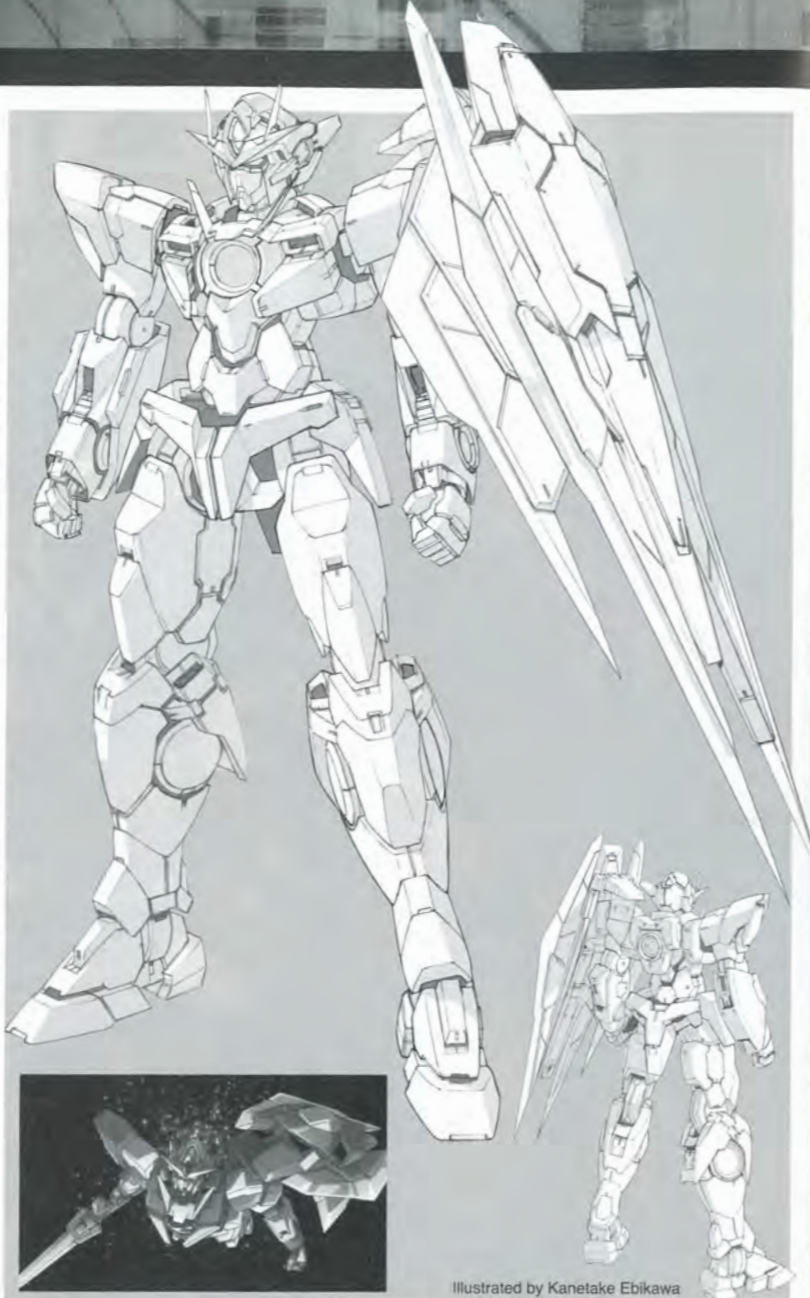
BANDAI 2010 MADE IN JAPAN ※写真の完成品は、塗装してあります。



0165654

# GNT-0000 00 QAN(T)

イノベーターを名乗る者たちとの戦いの中で、ダブルオーのガンダムマスターであった刹那・F・セイエイは、真のイノベーターとして目覚める。それはイオリア・シュヘンベルグが人類の進化した姿として思い描いた存在であった。ガンダムとGN粒子は、人類をイノベーターへと進化させるためのものであり、ソレスタルビーイングが目指していた「紛争の根絶」の裏には、「宇宙へ人類が進出するためには、高い相互理解能力を持ったイノベーターへの進化が必要」との考えがあったのだ。敵として戦ったイノベーターを名乗る者たちは、実はイノベイドと呼ばれる、イノベーターを模した人工的な存在であった。敵対していた一部のイノベイドがソレスタルビーイングによって滅ぼされると、世界は恒久和平へ向けて動き始める。中心となった地球連邦は、融和政策をかけたが、武力による支配を否定した。だが、その道は険しい。ソレスタルビーイングは、世界に対する抑止力として存在しながら、連邦政府では対処が難しい小さな問題を積み取るために、影ながら行動していた。一方で、前大戦においてソレスタルビーイングのガンダムは全機大破していた。そのため新たなガンダムの開発が急がれた。特に刹那のガンダムは、イノベーターとして覚醒した彼の能力を最大限に活かすため、いくつもの新たな機能が組み込まれることとなった。最大の特徴は木星で開発された二基の太陽炉である。これは、最初からツインドライブとして運用されることを前提に開発されたもので、起動時から完全に同調を果たしていた。この機体の完成直前、木星探査船のエウロパが地球に飛来。やがてそれは、地球外変異型生命体『E.L.S. (エルス)』と融合したものであると判明する。イオリアが予見した「来るべき対話」が、予想なかった形で始まろうとしている。人類にその準備は出来ていない。地球の運命は、イノベーターとして覚醒した刹那と、対話のためのガンダムであるダブルオークアンタに託されることになる。人類とE.L.Sとの接触は、お互いに相手を理解出来ないまま、戦闘状態となった。激しい戦いの中、希望を棄せた刹那のダブルオークアンタが、出撃する。戦うためではなく、対話するために。襲い来るE.L.Sを退け、やがて月に匹敵するような大型E.L.Sの内部に突入した刹那とダブルオークアンタは、E.L.Sとの直接対話を試みるのだった。



Illustrated by Kanetake Ebikawa

## SETSUNA F SEIEI

[刹那・F・セイエイ]



中東の小国クルジスに生まれ、少年兵として育てられた少年。幼い頃に試験的な武力介入のため稼働していた0 (オー) ガンダムを自撃、命を助けられた経験がある。このためガンダムに対する刹那の思いは非常に強く、特別なものである。やがて彼はソレスタルビーイングにスカウトされ、ガンダムマスターとなった。紛争根絶のため戦っていた彼は、世界に戦いを生み出す歪みを見つけ出す。それはイノベーターを名乗るイノベイドであった。激しい戦いが繰り返される中、刹那は真のイノベーターとして覚醒する。真のイノベーターとは、進化した人類であったが、刹那自身は、その能力に戸惑い続ける。やがて地球に飛来したE.L.Sとの最初の接触では、相手が送ってくる膨大な思考を受け止めきれず、脳に損傷を受けてしまう。しかし、脳量子波によって思考する量子脳を持つ彼は、混濁した意識の中から見事に蘇る。刹那はイノベーター専用機として完成したダブルオークアンタで出撃し、E.L.Sと再び対話を試み、そこではじめて自分の生まれてきた意味を知る事になる。

## GN DRIVE

[GNドライブ]

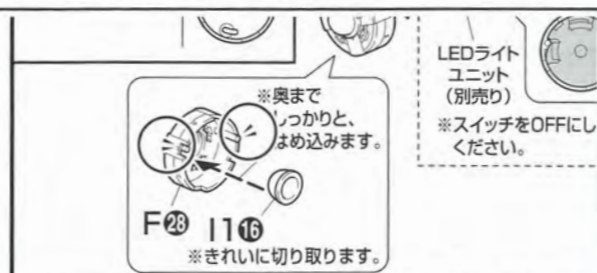
GN粒子を永久に放出し続ける機関。ガンダムの根幹を成すエンジンユニットである。先のイノベーターを名乗るイノベイドとの戦いで多くの太陽炉を失ったソレスタルビーイングは、新たな太陽炉を開発した。それは刹那専用機に搭載するためのもので、最初からツインドライブで使用することを前提としていた。木星において、急ピッチで開発が進められた太陽炉は他にも製造の予定があったが、E.L.Sの出現までに開発を終えたのは、ダブルオークアンタに搭載された二基だけであった。完成した二基の太陽炉は、ダブルオークアンタの背中と、左肩に配置したバインダーに内蔵される。このバインダーはフレキシブルに可動し、背中に移動させることで二基の太陽炉を直結させることも出来た。二基を直結することでドライブの同調が強まり、クアンタムバーストが使用可能となる。ただし、この状態では太陽炉の制御が難しく、予想外の事態が起こることを避けるため、通常は二基の太陽炉が直結しない配置を採用している。直結しない状態でも、トランザムを使用することが可能である。



## 組み立て前の基本説明

### 部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



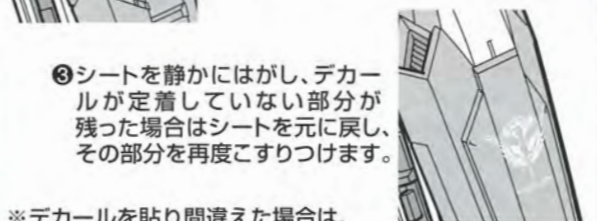
1 2 (胸部の組)

### ガンダムデカールの貼りかた

1 ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



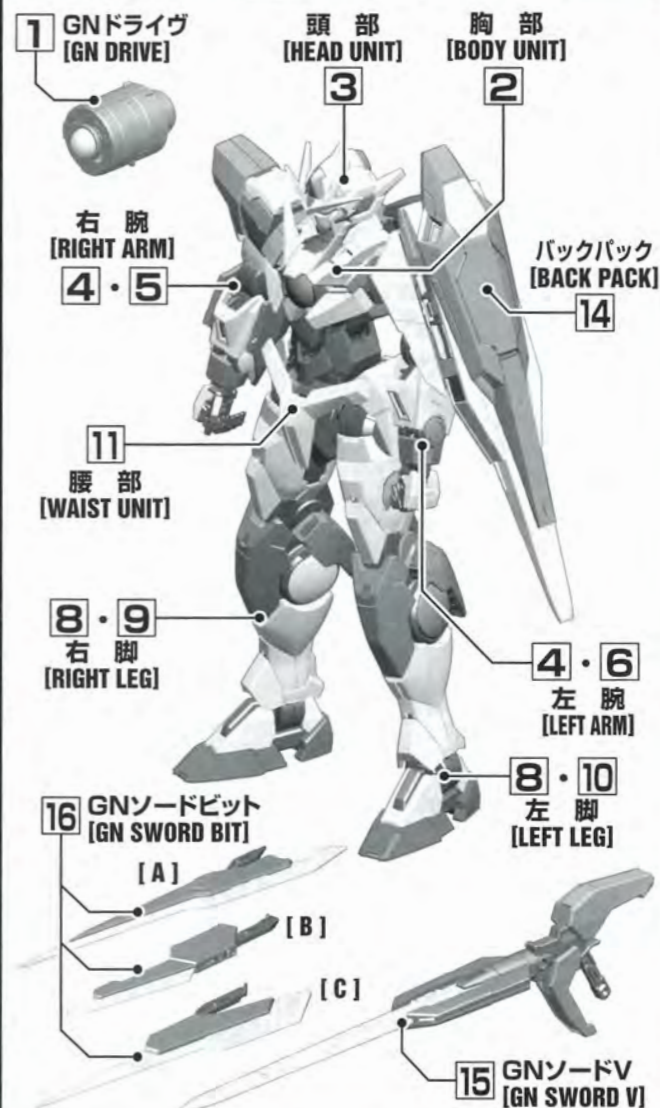
2 保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。



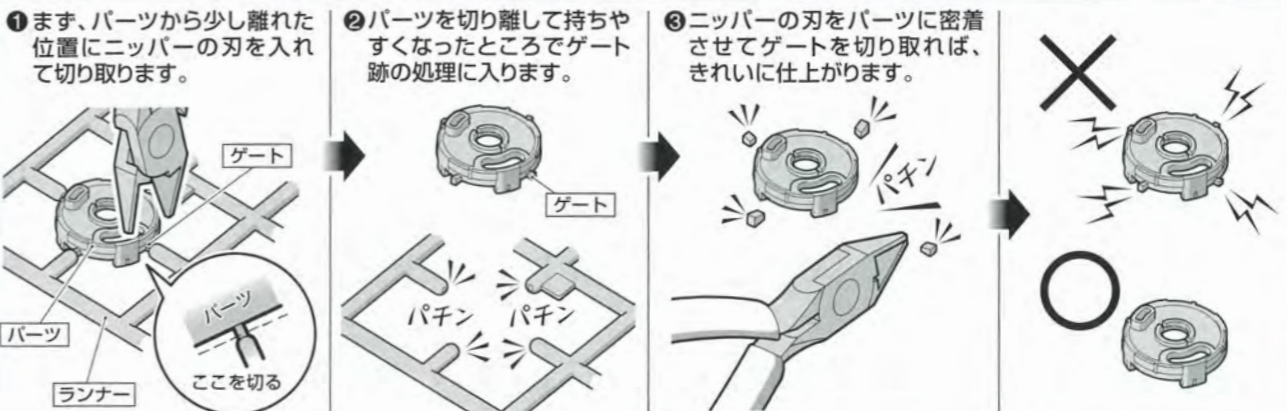
3 シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

### 説明書をよく読んで完成させましょう



### パーツの切り取りかた



**△ 注意**

**必ずお読みください**

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

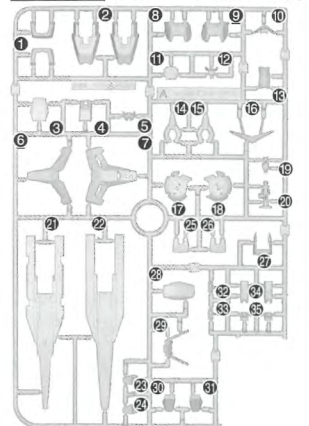
※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーを使いますので別にご用意ください。

**〈組み立てる時の注意〉**

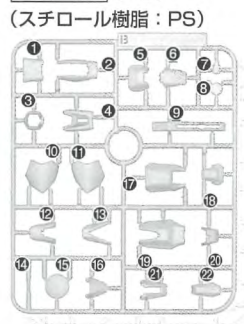
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
  - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
  - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
  - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
  - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

**パーツリスト** (×印は使用しないパーツです。)

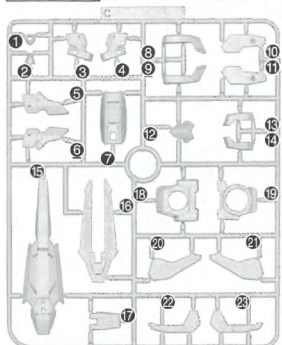
**Aパーツ** (スチロール樹脂: PS)



**Bパーツ** (×2)

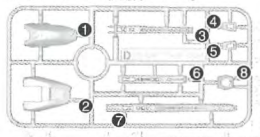


**Cパーツ** (スチロール樹脂: PS)

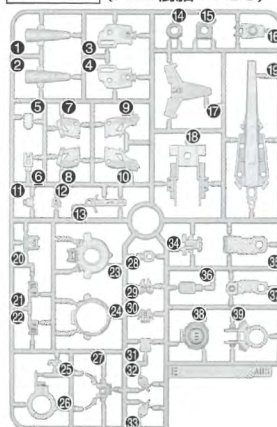


**Dパーツ** (×2)

(スチロール樹脂: PS)

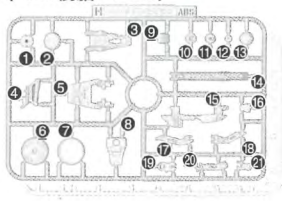


**Eパーツ** (ABS樹脂: ABS)

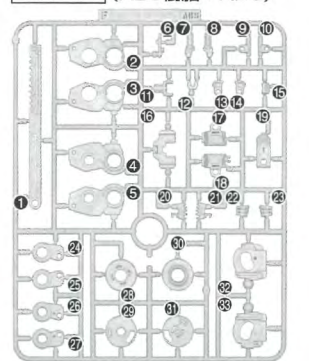


**Hパーツ** (×2)

(ABS樹脂: ABS)

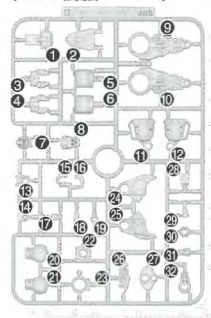


**Fパーツ** (ABS樹脂: ABS)

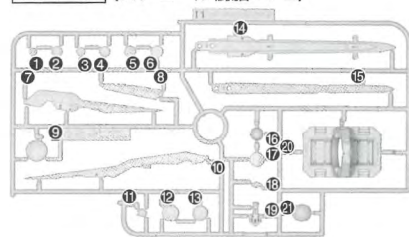


**Gパーツ** (×2)

(ABS樹脂: ABS)

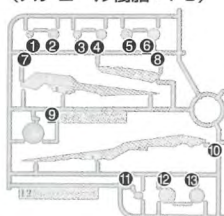


**I1パーツ** (スチロール樹脂: PS)



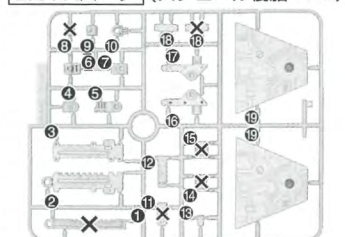
**I2パーツ**

(スチロール樹脂: PS)



**アクションベースセット**

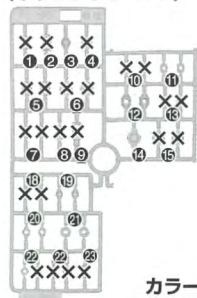
**BA4-A/パーツ** (スチロール樹脂: PS)



- ビス (長い) ..... 2本
- ビス (短い) ..... 1本
- ナット ..... 3個

**PC-130B**

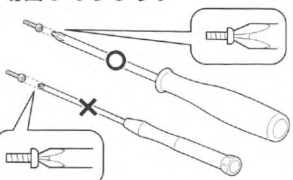
(ポリエチレン: PE)



- カラーシール ..... 1枚
- マーキングシール ..... 1枚
- ガンダムデカール ..... 1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

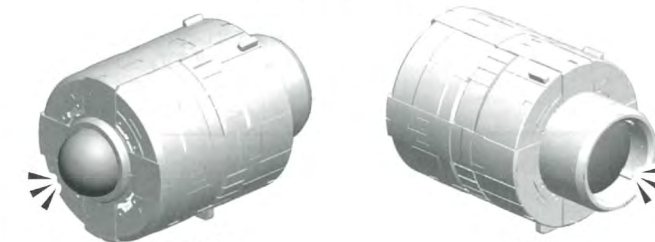
※ビスに合ったドライバーをご使用ください。サイズの合わないドライバーを使用されますとビスを破損する場合があります。



**MG ダブルオークアンタのGNドライブを点灯させたい方は、こちらをお読みください。**

MGダブルオークアンタのGNドライブには、LEDセット(グリーン)(別売り)を組み込み点灯させることができます。点灯させることで、劇中のイメージをお楽しみいただけます。

**GNドライブ**



**【前部】**

**【後部】**

※図のように前後を光らせる場合は、LEDセット(グリーン)が2セット必要です。

**LEDセット(グリーン)**



・LEDライトユニット(グリーン)



・J1



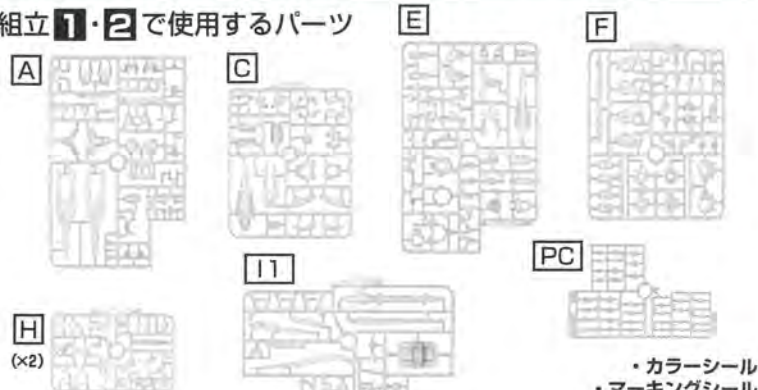
・ビス

# 1 2 GN DRIVE / BODY UNIT



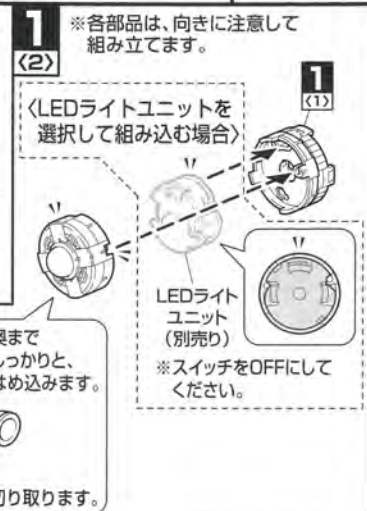
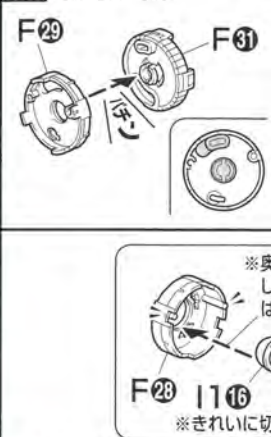
<GN DRIVE> <BODY UNIT>

・組立1・2で使用するパーツ

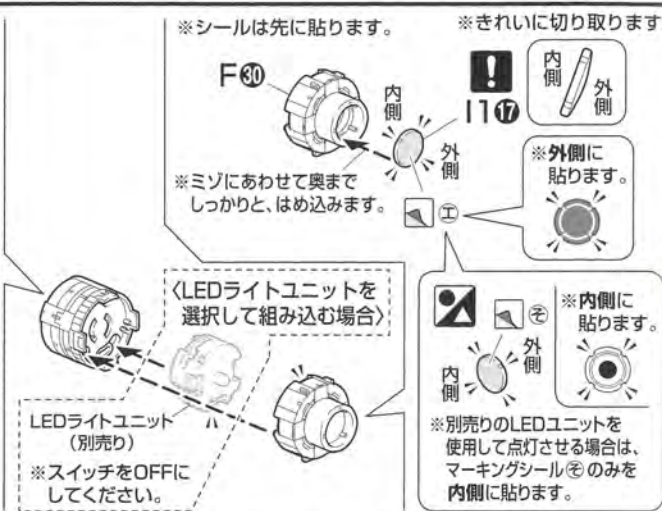


・カラーシール  
・マーキングシール

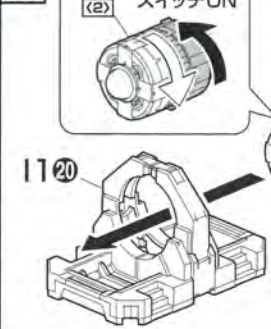
## 1 (GNドライブの組立) GN DRIVE



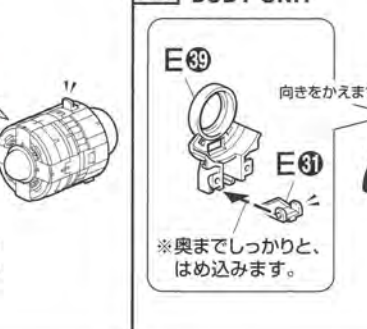
※各部品は、向きに注意して組み立てます。



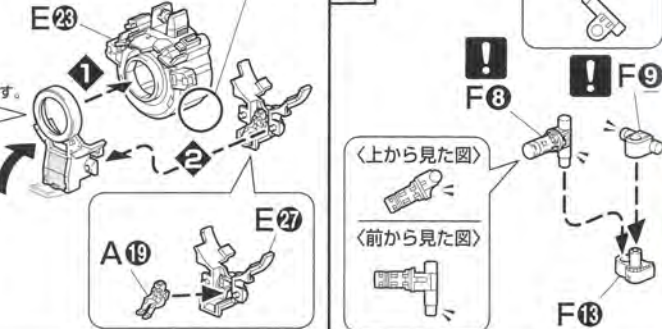
## 1 (2) スイッチON



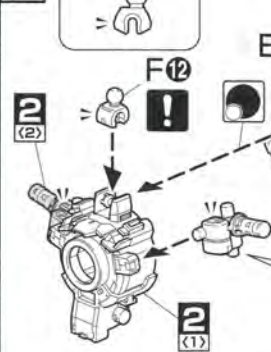
## 2 (胸部の組立) BODY UNIT



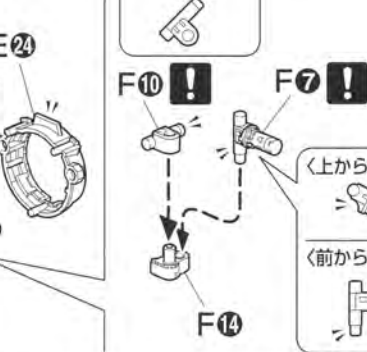
## 2 (2)



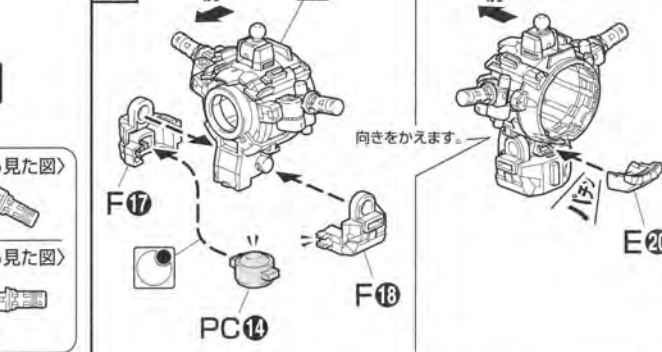
## 2 (横から見た図)



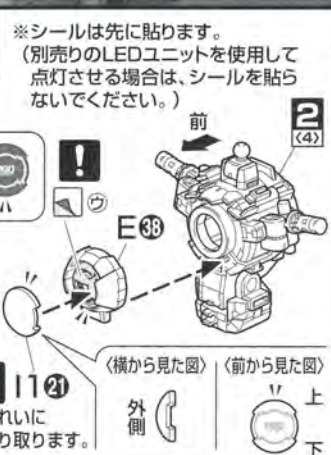
## 2 (上から見た図)



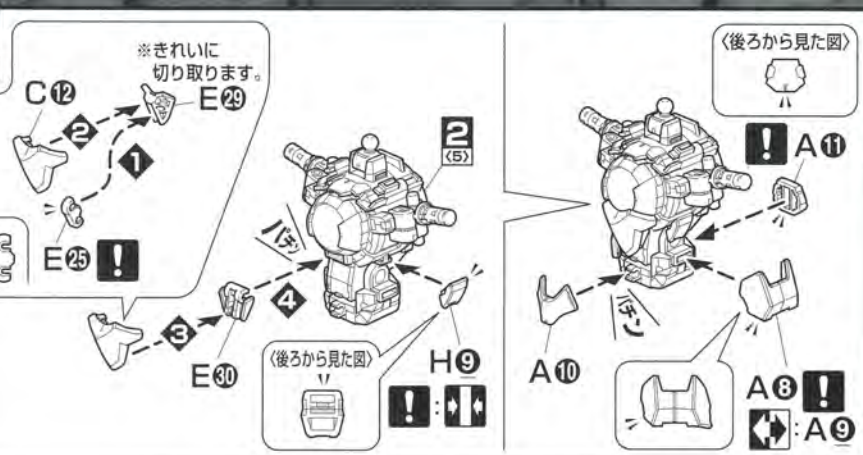
## 2 (4)



## 2 (5)



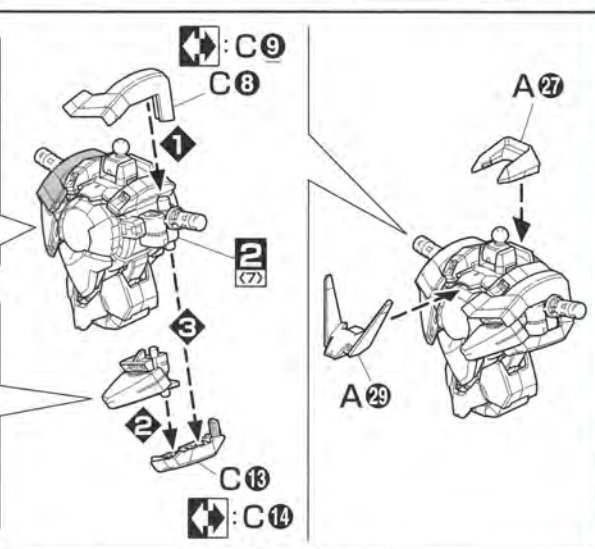
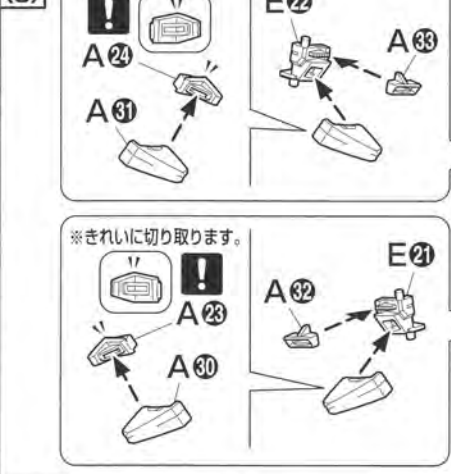
## 2 (6)



## 2 (7)

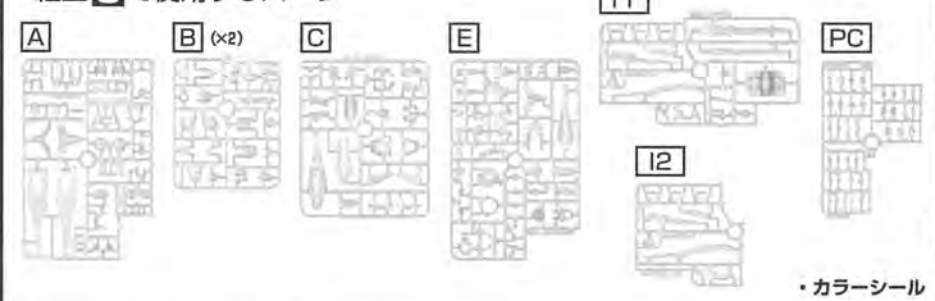


## 2 (8)

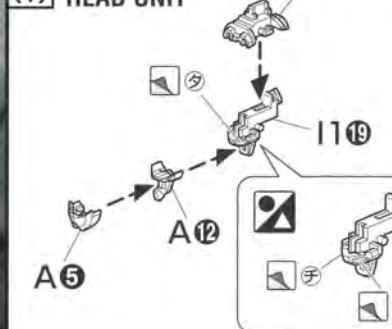


# 3 HEAD UNIT

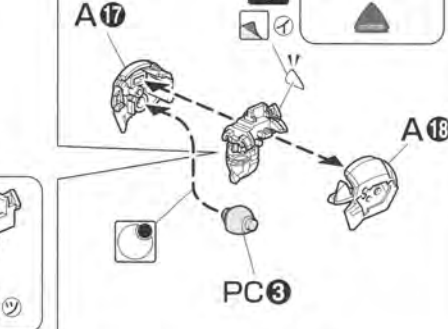
・組立3で使用するパーツ



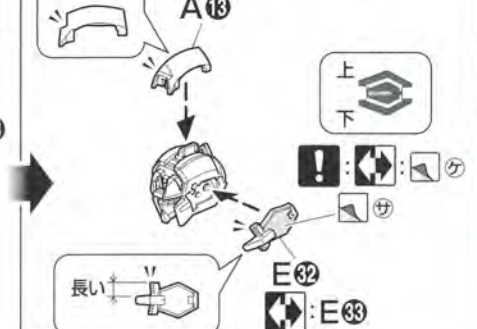
## 3 (1) HEAD UNIT



## 3 (2)



※各部品は、向きに注意して組み立てます。



**3** (2)

※きれいに切り取ります。  
※きれいに切り取ります。  
※きれいに切り取ります。  
※きれいに切り取ります。  
※シールは先に貼ります。

**5** (4)

G19, G18, G17, F20, F22, G15, G16, C7, A26

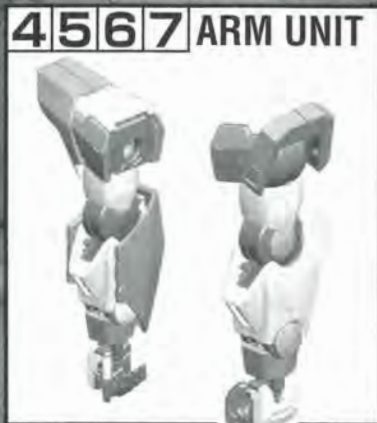
**6** (1) 左腕の組立 LEFT ARM

F25, H13

**6** (2)

H10, F26, I24

※ミソに合わせて組み立てます。



組立 4・5・6・7 で使用するパーツ

A, B (x2), C, D (x2), E, F, G (x2), H (x2), I1, I2, PC

・カラーシール

**6** (3)

G23, G25, G24, G13, I23, I20

※きれいに切り取ります。  
向きをかえます。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※ミソに合わせて組み立てます。

H12, I20

※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※ミソに合わせて組み立てます。

**4** (2) 腕部の組立 ARM UNIT

G20, PC12, G21, PC11

〈上から見た図〉

**5** (1) 右腕の組立 RIGHT ARM

H13, F24, G23, G25, G24, G13, H10, F27, I14, I13

※ミソに合わせて組み立てます。  
向きをかえます。  
※きれいに切り取ります。

**6** (4)

B8, H10, B3, B7, B4, D8

※きれいに切り取ります。  
向きをかえます。  
向きをかえます。

**7** (1) 上半身の組立 UPPER BODY

PC19, E9, E10, G22, B1, C5, C6

**5** (2)

H12, B8, H10, I12, I11, B7, B4, D8

※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※ミソに合わせて組み立てます。  
向きをかえます。  
※きれいに切り取ります。

**6** (5)

G19, G18, G17, A4, F21, F23, G16, G15, A25

**7** (2)

PC19, E9, E10, G22, B1, C5, C6

**7**  
**(2)**

3 で作った頭部

2 で作ったボディ

5 で作った右腕

6 で作った左腕

A(28)

E(7)

E(8)

G(2)

B(1)

C(3)



・組立 8・9・10 で使用するパーツ

A F G (x2)

B (x2) D (x2)

H (x2) I1 I2 PC

・カラーシール

**8**  
**(1)** x2

【脚部の組立】  
LEG UNIT

G(7)

G(31)

G(8)

**8**  
**(2)** x2

A(1)

A(2)

G(2)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※きれいに切り取ります。

**8**  
**(3)** x2

B(4)

B(20)

B(1)

1/2

1/2

**8**  
**(4)** x2

G(5)

G(6)

G(11)

G(12)

H(4)

PC(21)

**8**  
**(5)** x2

G(4)

G(3)

PC(20)

**8**  
**(6)** x2

G(2)

G(1)

G(1)

**8**  
**(7)** x2

B(13)

B(12)

B(10)

B(16)

前

**8**  
**(8)** x2

D(2)

D(4)

D(5)

D(6)

H(5)

※きれいに切り取ります。

**8**  
**(6)** x2

H(3)

D(1)

※きれいに切り取ります。

**9** (右足の組立)  
**(1)** RIGHT LEG

F(4)

H(1)

H(2)

※ミゾに合わせて組み立てます。

前

**8**  
**(5)**

F(3)

H(2)

**8**  
**(7)** x2

〈上から見た図〉

D(4)

D(5)

H(5)

※きれいに切り取ります。

**9** (2)

G(9)

G(10)

G(28)

G(29)

G(30)

前

※ミゾに合わせて、奥までしっかりと、はめ込みます。

**9**  
**(1)**

H(7)

I1(12)

前

※図のようにまっすぐ組みます。

向きをかえます。

**9**  
**(3)**

H(6)

B(15)

前

**9** (4)

〈横から見た図〉 〈後ろから見た図〉

I1(6)

I1(9)

※きれいに切り取ります。

前

向きをかえます。

**9**  
**(3)**

B(10)

B(17)

B(11)

前

**9**  
**(5)**

B(13)

B(12)

B(10)

B(16)

前

※B(16)は 〇 の部分を裏から押さえながら奥までしっかりと、取り付けます。

**9**  
**(4)**

B(2)

B(10)

B(3)

1/2

**10** (左足の組立)  
**(1)** LEFT LEG

F(2)

H(2)

**10**  
**(2)**

F(5)

H(1)

I2(3)

※ミゾに合わせて組み立てます。

# FIGHT'S ON

## DOCUMENTARY PHOTOGRAPH

イオリアが予見した「来るべき対話」が、予想しなかった形で始まろうとしている。地球の運命は、イノベーターとして覚醒した刹那と、対話のためのガンダムであるダブルオークアンタに託されることになる。人類とE.L.Sとの接触は、お互いに相手を理解出来ないまま、戦闘状態となった。激しい戦いの中、希望を乗せた刹那のダブルオークアンタが、出撃する。戦うためではなく、対話するために。

次々と地球に向かって飛来するE.L.Sの大量。やがて木星から現れる大型E.L.S。月と同規模の大きさを持つE.L.Sの接近に対し、人類は最終防衛線を作り、総力戦で迎え撃つ。一方、ダブルオークアンタが完成に近づく中、刹那は最初のE.L.Sとの対話により、脳に損傷を受け意識不明の状態に陥っていた。夢のような空間を彷徨う刹那。その中で彼は、刻を、場所を越えて、人々を感じ取る。やがて、イノベーターとしての刹那の力と、彼を思う人々の力が目覚めさせる。ティエリアのデータと共に、完成したダブルオークアンタに乗り込む刹那。フェルトの通信がコクピットに流れる。「射出タイミングを、刹那・F・セイエイに譲渡します!」それに刹那が答える。「了解!ダブルオークアンタ、刹那・F・セイエイ、出る!」トレミーから発射される無数のGNミサイルが作り出す粒子の尾の間を抜けるように、ダブルオークアンタが宇宙へと飛び立つ。真のイノベーターである刹那による、E.L.Sとの対話のために。



●写真はイメージです。

出撃したダブルオークアンタ。刹那は、対話のために大型E.L.Sを目指す。だが、次々と押し寄せる小型E.L.Sたち。「俺は戦うために来たわけでは……!」刹那のその思いは通じない。迫り来る小型E.L.SをGNソードVのライフルモードと、GNシールドの上部のビームで撃ち落とすダブルオークアンタ。敵を打ち払いながら、大型E.L.Sに接近するが、それにともない反撃も大きくなる。共に戦う仲間たちも、刹那のダブルオークアンタを対話へと導くために、戦ってくれる。だが、大型E.L.Sの直前まで迫ったダブルオークアンタの前に、突如現れたのは、中型E.L.Sの先端に三隻の巡洋艦がはえた異様な形のE.L.Sだった。敵は激しく砲撃しながら迫ってくる。刹那は、GNソードビットを機体前面に呼び戻し、すばやくGNフィールドを展開する。敵のビームをはじきながらGNソードVとGNシールドのビームで応戦する。だが、中型E.L.Sを破壊するに至らない。刹那はトランザムの使用を覚悟すると、GNソードビットをGNソードVに合体させ、巨大なバスターライフルへと変えた。

### PAINTING GUIDE

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。  
●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ダブルオークアンタ		刹那・F・セイエイ	
■ 本体等ホワイト部の塗装色。 ホワイト(100%) + ネービーブルー(少量)	■ 胸等ブルー部の塗装色。 コバルトブルー(80%) + スカイブルー(20%) + ブルー(少量)	■ 顔 肌色部の塗装色。 はだ色(100%)	■ スーツ等ブルー部の塗装色。 コバルトブルー(70%) + ホワイト(30%)
■ 腹等レッド部の塗装色。 モンザナイト(100%)	■ インテーク等イエロー部の塗装色。 イエロー(60%) + ホワイト(30%) + オレンジ(10%)	■ 髪等ダークブルー部の塗装色。 ミッドナイトブルー(100%)	■ 肩、ライン等 ホワイト部の塗装色。 ホワイト(100%)
■ 関節等グレー部の塗装色。 ニュートラルグレー(90%) + ブラック(10%)	■ 目等クリアグリーン部の塗装色。 クリアグリーン(60%) + クリアブルー(20%) + クリア(20%)	■ スーツ等ダークブルー部の塗装色。 ブルー(95%) + ホワイト(5%) + ブラック(少量)	■ 胸等カーキグリーン部の塗装色。 カーキグリーン(65%) + ホワイト(35%)
		■ ヘルメットパイザー パープル部の塗装色。 ホワイト(80%) + パープル(20%)	

### ONE POINT STEP

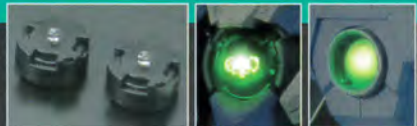
#### スミ入れてみよう!!

ガンダムマーカースミ入れ用(別売り)などを使用して、ミソの所に線を引きことで、模型が引き締まります。



#### GNドライブの発光表現をしよう!

LEDライトユニットを2個(別売り)とボタン電池(LR41)4個(別売り)を使用して胸と背中が発光。



# MECHANISM and WEAPONS GUIDE

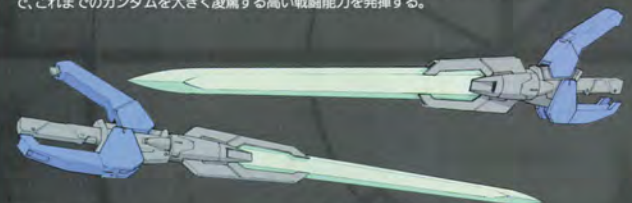
真のイノベーターとなった刹那のために新たに開発されたガンダム。ツインドライブを搭載していたダブルオーライザーの後継機である。基本フレームなどの設定データには、ダブルオーガンダムのものが一部使用されている。しかし、その他の部分ではまったく新規に開発が行われた。同時期に開発されたガンダムサブアークとガンダムハルルトでは、以前の機体からも使える部品は流用されていたことを考えると、ダブルオークアンタは、その開発の状況が大きく違っていたことが分かる。これは、イノベーターという新たな要因に対応するための処置であり、逆を言えば、まったく新しくなくては、その能力に対応出来なかったとも言える。特に搭載された太陽炉は、木星において新たに開発されたツインドライブ専用のものであった。このため、ダブルオークアンタはオーライザーのようなサポートマシンを必要としない。なお、型式番号の「T」は、ツイン(TWIN)を意味する。E.L.S出現の前に二基の新型太陽炉は完成。ダブルオークアンタの最終組み立てにも取りかかっていた。しかし、刹那とE.L.Sの最初の接触には間に合わず、その完成は大型E.L.Sが地球に迫った状況下であり、まさに最終決戦の直前となってしまふ。完成したダブルオークアンタには、E.L.Sとの対話において刹那をサポートするため、ウェーダの小型ターミナルが搭載された。これにより、刹那は操縦時に常にティエリアのサポートを受けることが可能となった。ダブルオークアンタは、イノベーター専用の機体であり、その本質は「対話のための機体」である。対話のための能力は、設計を担当したイアン・ヴァスティにも想像が出来ないレベルである。クワンタムバーストを行えば、ダブルオーライザーより強力に、高濃度粒子領域内で脳量子波による意識共有を行い、戦闘空間で人々の想いをつなげることが可能となる。一方で、対話のための機体でありながら、秘められた戦闘力も非常に高い。特にイノベーターの強力な脳量子波を前提にして搭載されたGNソードビットは、攻防に使用可能な装備であり、遠隔操作系の装備を使用したことがない刹那でも、楽々とコントロールすることが出来る。それまで刹那が使用したガンダムに搭載されてきたGNソード系の武器もメイン武装として採用されており、総合戦闘力はダブルオーライザーを大きく上回っている。対話でなく戦闘でも単独でE.L.Sを殲滅させる事が出来た可能性すらある。



### GN SWORD U

【GNソードV】

刹那のガンダムに積極的に採用されてきたGNソードの最新型。剣としての機能の他に、GNソードIIと同様に銃身が回転することでライフルモードへ変形し、遠距離射撃兵器としても使用出来る。また、GNソードビットと合体することで、より威力を高めたバスターソード、もしくはバスターライフルになる。新たな太陽炉から得られるハイパワーに加え、刹那のイノベーターとしての技能が加わることで、これまでのガンダムを大きく凌駕する高い戦闘能力を発揮する。



【ソードモード】

【ライフルモード】



### GN SHIELD

【GNシールド】

左肩部に配置されたバインダー。GNソードビットのキャリアであり、ツインドライブの一基を内蔵する。これまでのスラスターとドライブが分かれている仕様ではなく、完全にバインダーと一体化する構造を採用している。ドライブを内蔵したことで、装着されたGNソードビットに対して、急速に大量の粒子供給を行う。射出時には、ビットが左右に広がる様に展開し、より的確に目標へ向かって射出することが出来る。シールドとしての機能も持ち、可動式アームにより手を使わずに広い防御範囲を確保している。上部にはGNビームガン内蔵し、ミサイルなどの迎撃に使用する。



### HEAD UNIT

【頭部】

新たに装備されたGNソードビットのコントロールのために、アンテナの機能が強化されている。また、量子通信機能に加え、クラビカルアンテナが持つ粒子制御機能も合わせて強化されている。刹那の持つ真のイノベーターとしての能力が加わることで、他の機体とはレベルの違う高い能力を発揮する。頭部デザインは、原型機となったダブルオーガンダムよりも、刹那の最初の愛機であったガンダムエクシアに似せて作られている。これは刹那のオーダーではなく、イアン・ヴァスティのアイデアによって採用された。

### ARM UNIT

【腕部】

ダブルオークアンタは、射撃戦も格闘戦も高度に行う事が可能な機体だが、専員のガンダムマイスターである刹那が格闘戦を好むことを配慮し、特に格闘戦で重要となる腕は、人間に近い動きが可能ないように設計されている。また、関節部にGNコンデンサーを内蔵することで、武器への粒子供給をスムーズに行うことが出来る。内蔵されたGNコンデンサーは、新技術を使用した粒子貯蔵量の大きいものである。GNシールドが装備される左腕は、動きの邪魔にならないように肩アーマーの一部がカットされた形状となっている。

### LEG UNIT

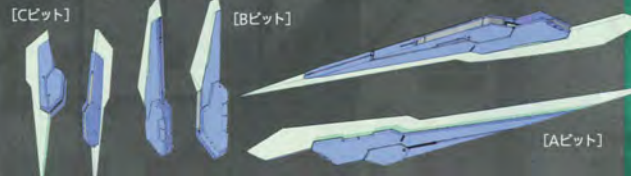
【脚部】

太陽炉搭載機は、脚部を使い重力下を歩くことよりも、空中や宇宙空間を飛行によって移動することが多い。脚部自体はAMBAC(アンバク、質量移動による姿勢制御)のために必要だが、そこに求められる機能は人間の足とは大きく違う。ダブルオークアンタでは、つま先の関節が人間より大きく曲がるように設計されており、宇宙空間などでは、つま先立ちしたような形態を基本姿勢としている。こうした関節は、ガデッサなどのシリーズをはじめ、他の太陽炉搭載機でも採用されている。また、ダブルオーにはなかった、脚部関節部へのコンデンサーの設置により、粒子貯蔵量の増大も実現している。

### GN SWORD BIT

【GNソードビット】

Aビット、Bビット、Cビットを各二基装備する。それぞれGNソードIIIで開発された新素材を刃の部分に使用している。ビットとして遠隔攻撃が可能だけでなく、剣として手に持って使用できる様に、それぞれグリップが格納されている。またAビットとBビットは、組み合わせて一つの剣として運用することも可能。攻撃だけでなく、防御面では、六基のGNソードビットを機体前面に展開することで、大きなGNフィールドを形成する。直接ビットで攻撃を受けないため、耐久力が高い。



【Cビット】

【Bビット】

【Aビット】

**10** (3)

10 (12) 10 (2)

G9 G10 G28 G29 G30

**10** (4)

10 (3) H7 I2 (2) H6 B15

※図のように真っ直ぐ組みます。

※ミゾにあわせて、奥までしっかりと、はめ込みます。

**10** (5)

10 (4) 12 (6) 12 (9) B17 B19 B10 B11

※きれいに切り取ります。

※きれいに切り取ります。

〈横から見た図〉 〈後ろから見た図〉

外側

向きをかえます。

**10** (6)

8 (7) 10 (5) 8 (6) B12 B13 B18 B22 B16 8 (4)

※B16は [ ] の部分を裏から押さえながら奥までしっかりと、取り付けます。

**11** (腰部の組立) (1) WAIST UNIT

F32 G27 PC19 F33 F16 F15 F19

※股関節のパーツは左右とも図の位置にしておきます。

**11** (2)

A6 F6 11 (1) E17 A7

**11** (3)

H8 B6 B6

※上の穴に取り付けます。

**12** (下半身の組立) LOWER BODY

11 (3) 11 (2) 11 (1) 9 (右脚) 10 (左脚)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

**13** (完成) FINAL ASSEMBLY

**GNドライブの搭載**

※GNドライブは、台座から外しておきます。

1 で作った GNドライブ



**11** WAIST UNIT

・組立 11 で使用するパーツ

A B (x2) C E F G (x2) H (x2) PC



**14** BACK PACK

・組立 14 で使用するパーツ

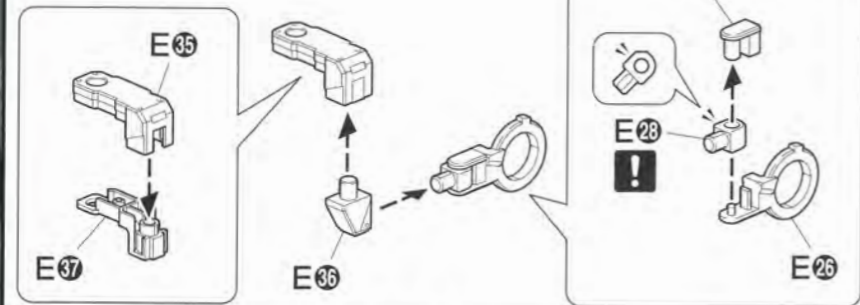
A B (x2) C E F H (x2) 11 12 PC

・カラーシール  
・マーキングシール



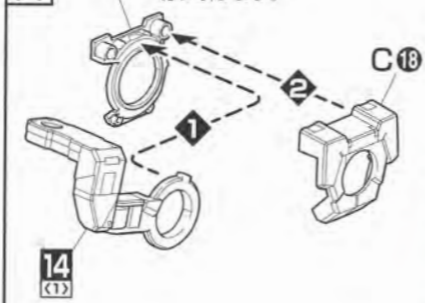
### 14 [バックパックの組立]

#### (1) BACKPACK UNIT



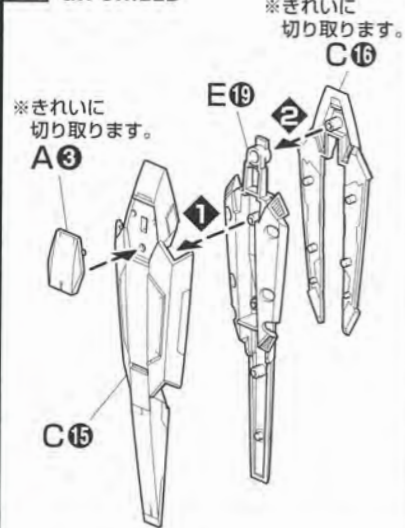
### 14

#### (2)



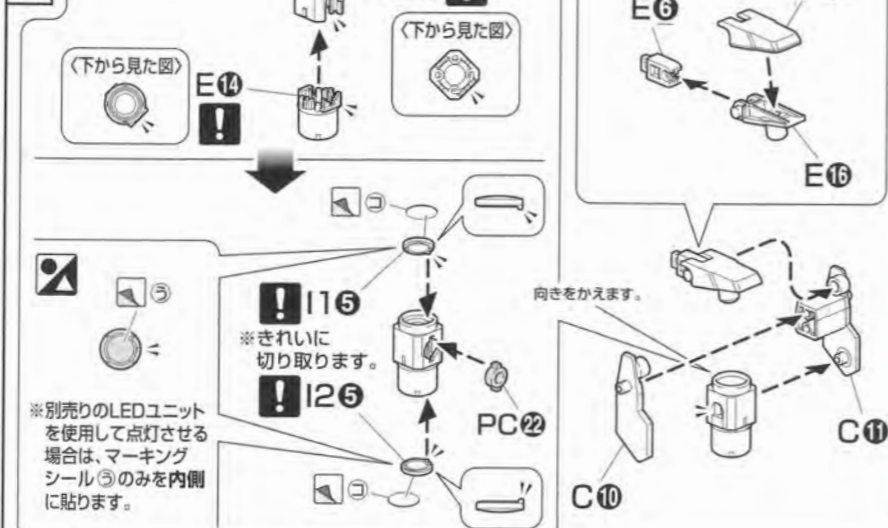
### 14 [GNシールドの組立]

#### (3) GN SHIELD



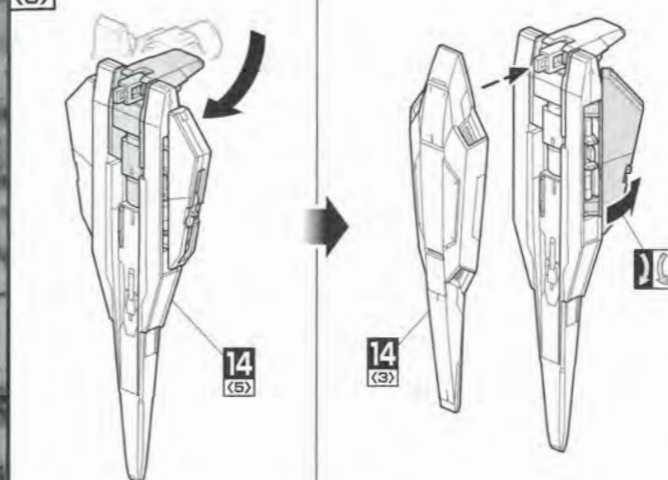
### 14

#### (4)



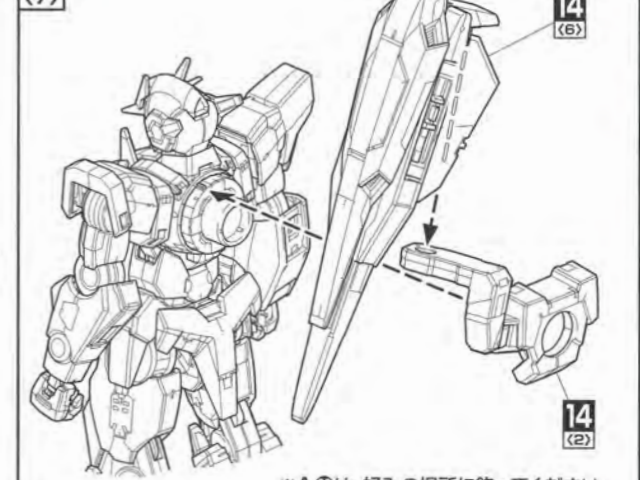
### 14

#### (6)



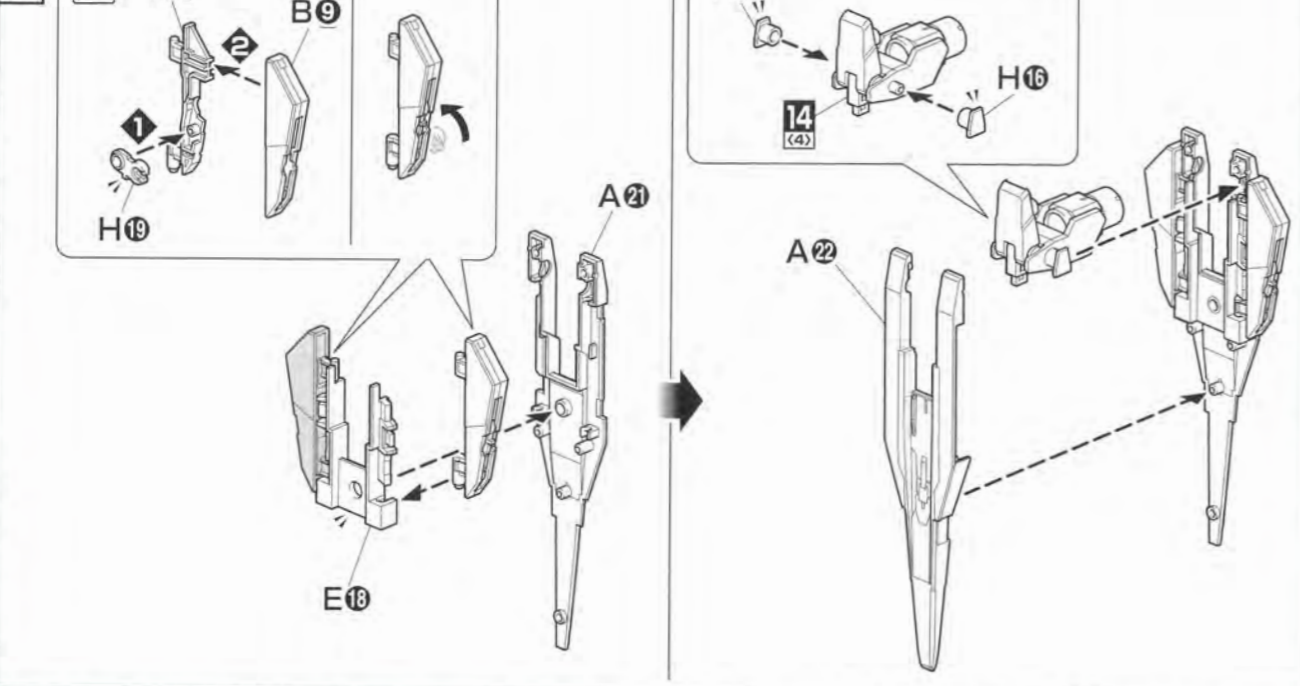
### 14

#### (7)



### 14

#### (5)



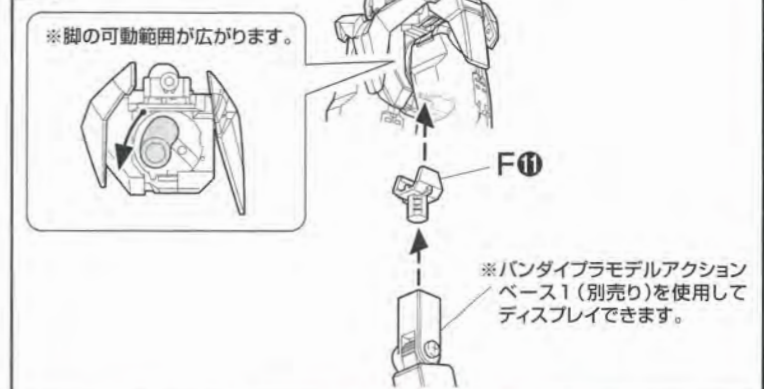
### 14

#### (8)

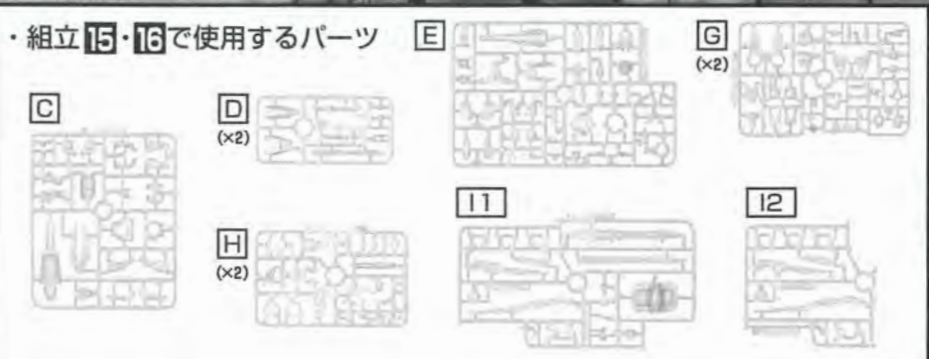


### 14

#### (9)

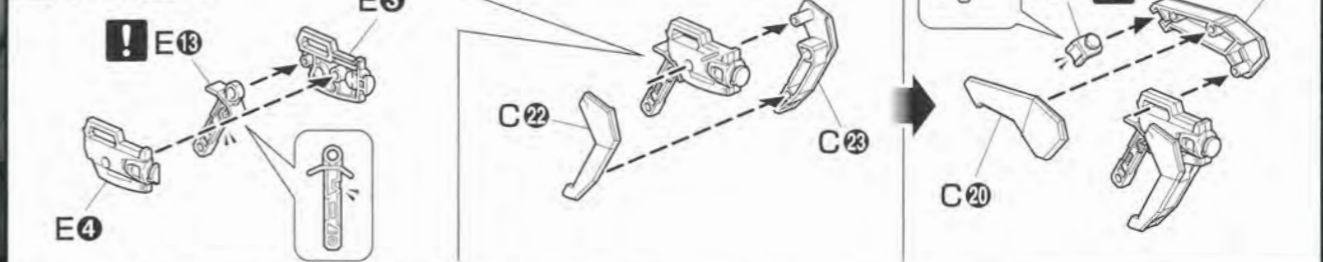


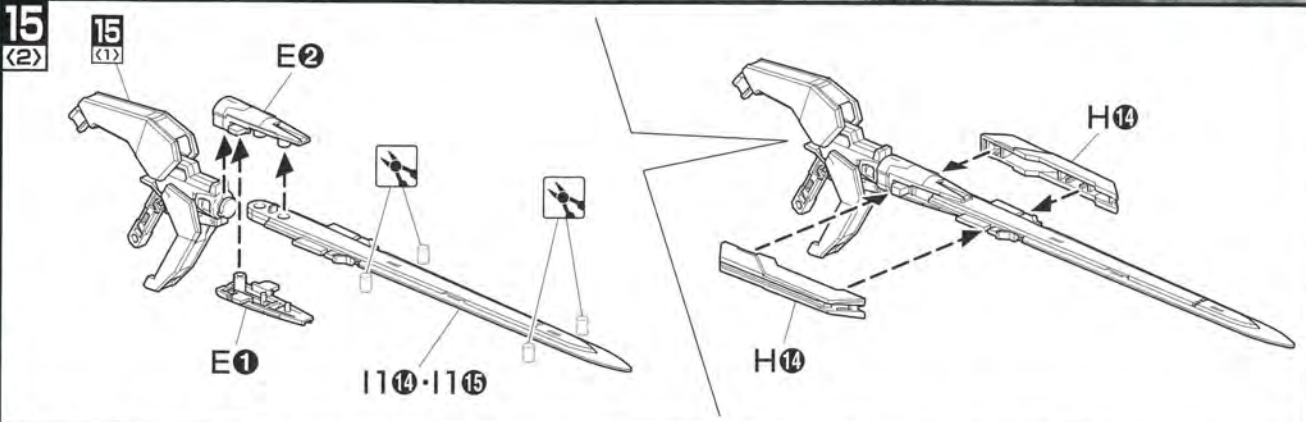
### 15/16 WEAPONS



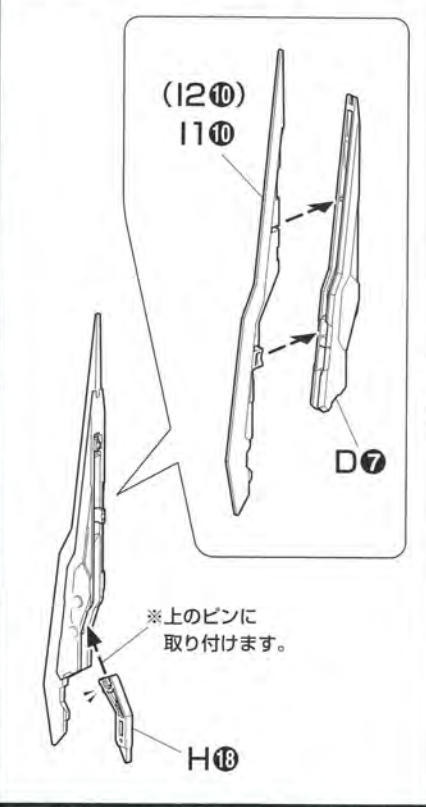
### 15 [GNソードVの組立]

#### (1) GN SWORD V

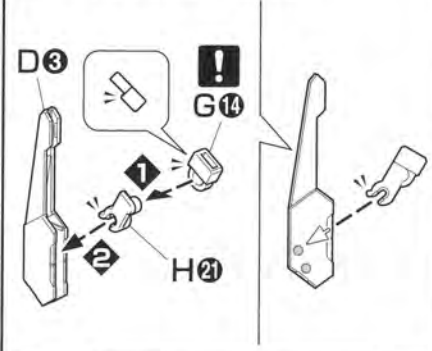




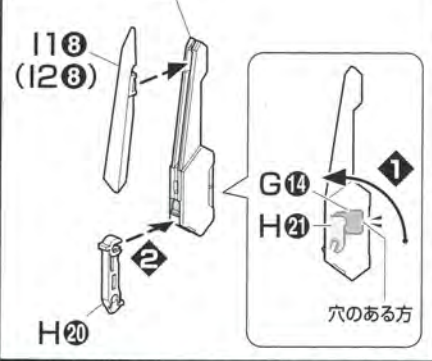
**16** x2 (1) (GNソードビットAの組立)  
GN SWORD BIT A



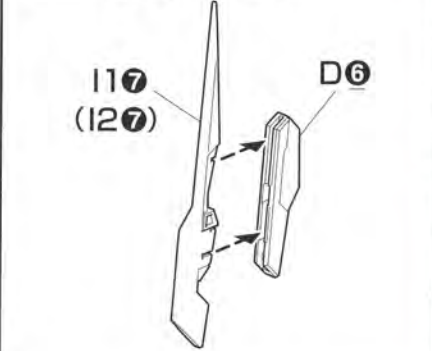
**16** x2 (2) (GNソードビットBの組立)  
GN SWORD BIT B



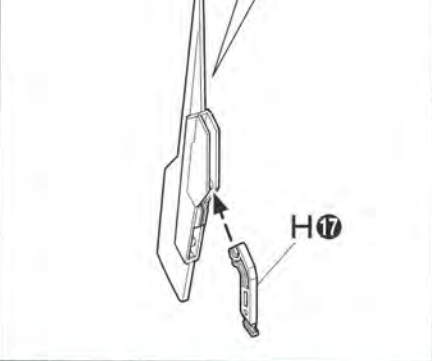
**16** x2 (3) **16** (2)



**16** x2 (4) (GNソードビットCの組立)  
GN SWORD BIT C



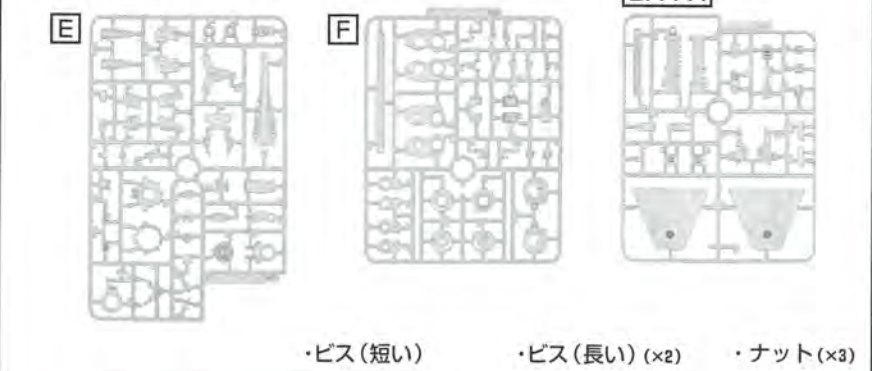
向きをかえます。



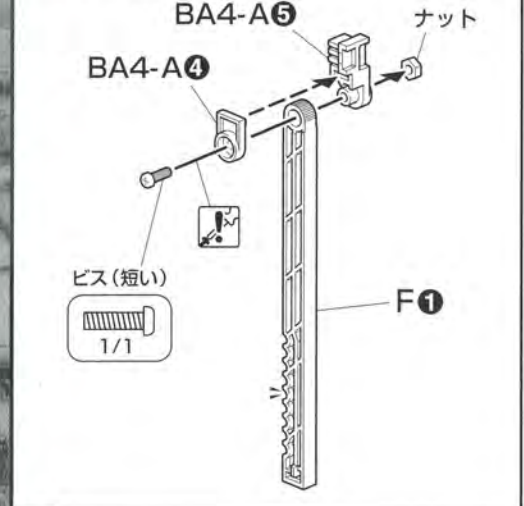
**17** DISPLAY STAND



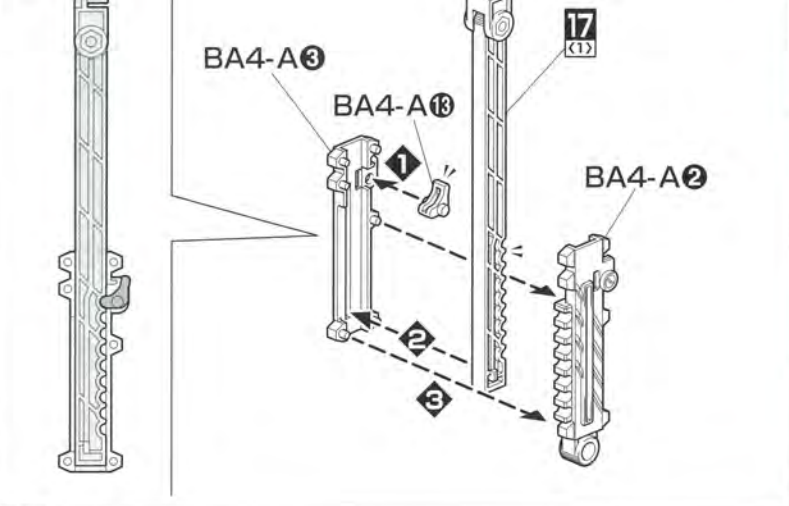
・組立 17・18 で使用するパーツ



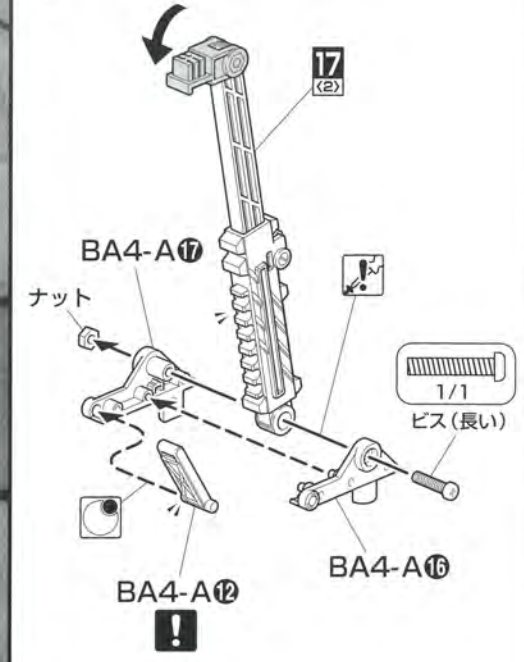
**17** (ディスプレイスタンドの組立)  
(1) DISPLAY STAND



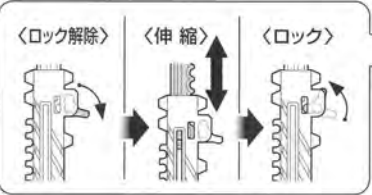
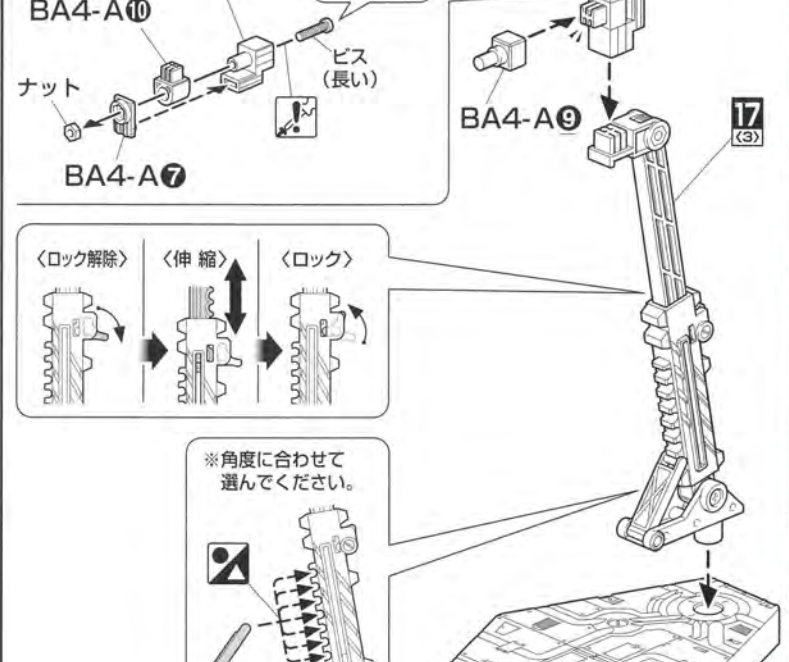
**17** (2)



**17** (3)



**17** (4)



**18** (武器の装備)  
**(1)** WEAPONS EQUIPMENT  
 <ライフルモード>

**15** で作ったGNソードV

<ソードモード>

※図の位置に差し込みロックします。

**18** (2)

※下の穴に取り付けます。

**18** (1) <ソードモード>

E12

**18** (3) (左手にも持たせられます。)

**16** で作ったGNソードビットA

**16** で作ったGNソードビットB

**16** で作ったGNソードビットC

**18** (4)

x2 GNソードビットC

**18** (5)

GNソードビットB

<GNソードビット発射形態>

GNソードビットA

x2

**19** <バスターソード>  
**(1)** ※各GNソードビットは、シールドから外しておきます。

**18** (5) で変形させたGNソードビットA

**18** (4) で変形させたGNソードビットC

**18** (4) で変形させたGNソードビットC

H21  
G14

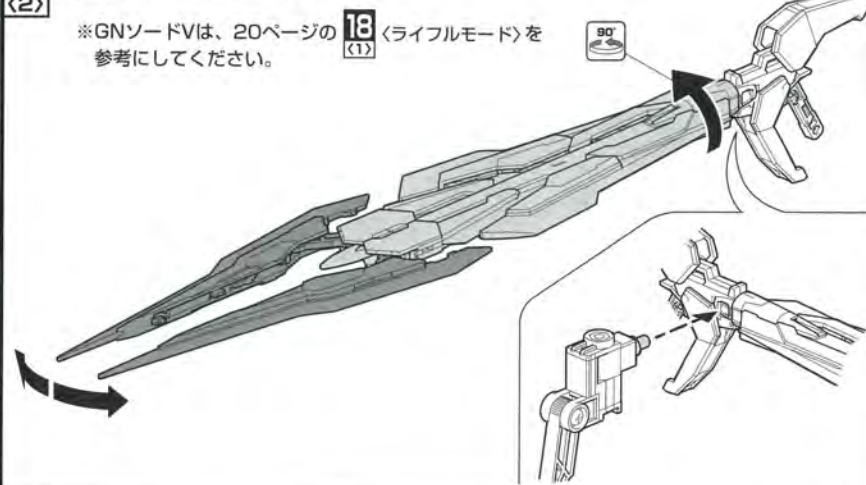
穴が下の方

※元に戻すときは 部分動かして、右の図を参考に戻してください。

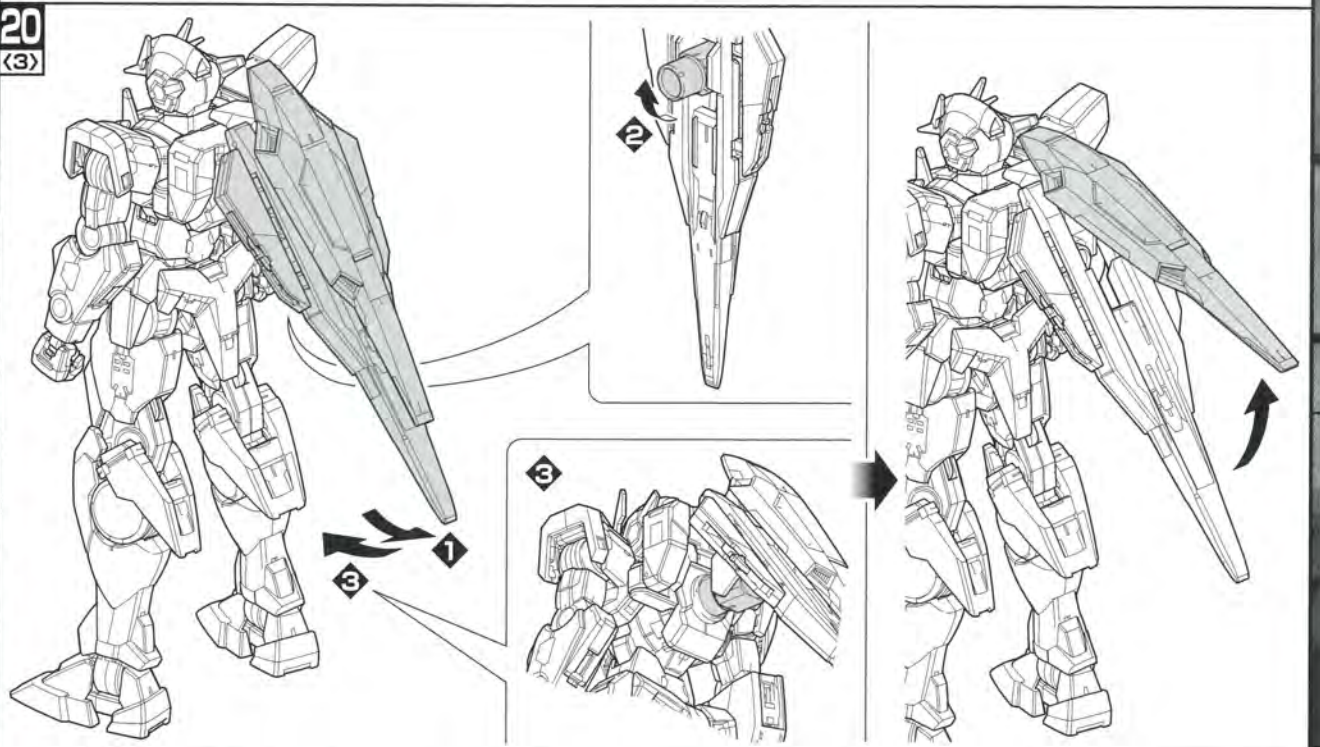
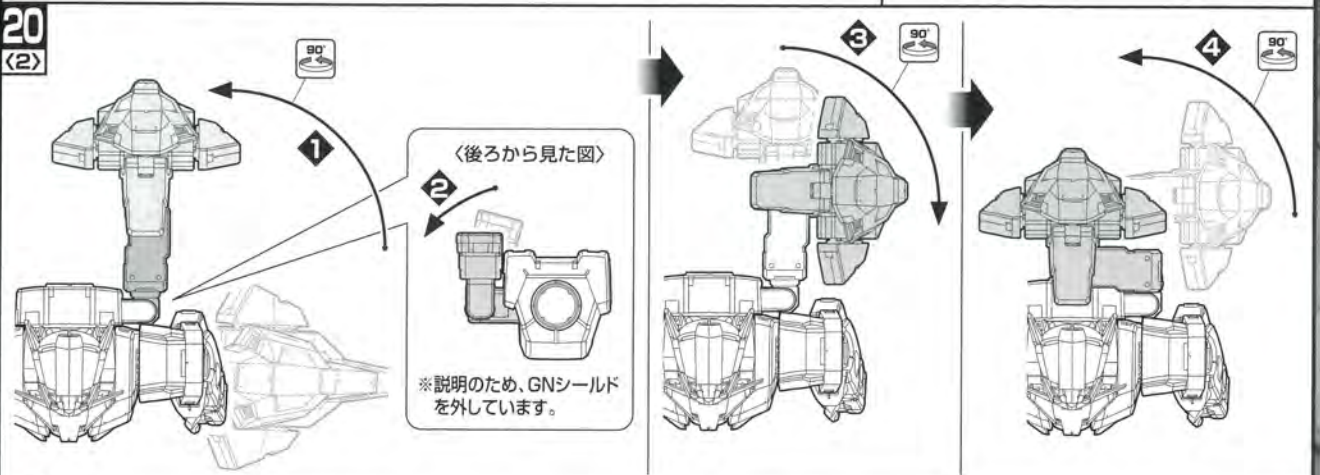
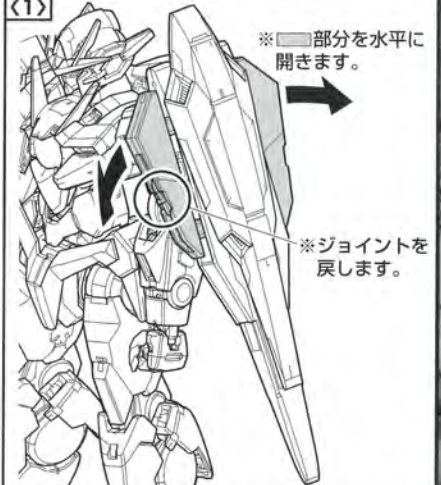
**18** (1) GNソードV <ソードモード>

**17** で作ったディスプレイスタンド

**19** <バスターライフル>



**20** [GNシールドの変形]

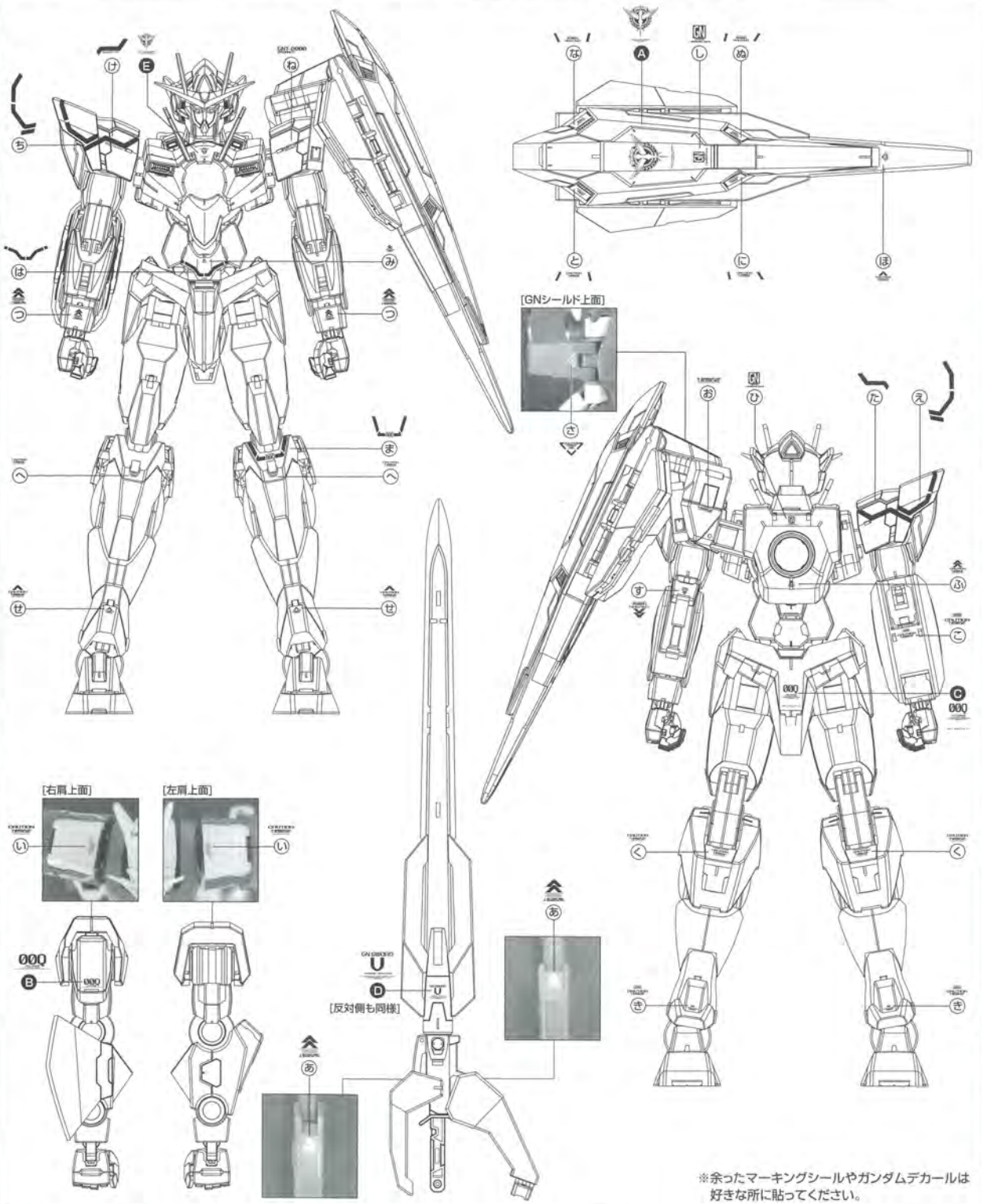


MARKING SEAL & DECAL

**Seal** 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「ひらがな」、ガンダムデカールは「英字」で表記してあります。  
【例】㊦...マーキングシール A...ガンダムデカール

**【ガンダムデカールの貼りかた】** ※P3のガンダムデカールの貼り方を参考に、あせらずゆっくり貼ってください。  
1. 転写するマークを大きめに切り取ります。  
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。  
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。  
このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。